

平成 17 年度市有施設における薬剤散布状況調査結果について

農薬等の薬剤は、病虫害の防除において有効ですが、使い方によっては、人や生態系に影響を及ぼす可能性があります。近年、国において病虫害の防除実態について調査が行われたり、薬剤の飛散による健康への影響について、新聞等のメディアで取り上げられるなど、薬剤の適正な使用が求められています。

そこで、市有施設における薬剤散布状況を把握し適正な使用を促進するために、薬剤散布状況に関する調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

1 調査の概要

(1) 調査対象施設等

ア 市民が通常使用又は利用する市有施設及びそれに準じる施設

イ 市が管理義務を持つ樹木、植栽、雑草等（試験研究等の目的のために栽培されているものを除く。）

(2) 調査内容

薬剤散布における以下の内容について、屋外（樹木等の病虫害や雑草の防除など）・屋内（衛生害虫やねずみの駆除など）別に調査を行いました。

ア 薬剤の名称及び使用量に関すること

イ 周辺環境や来庁者等への配慮に関すること

(3) 調査対象期間

平成 17 年度（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

(4) 調査方法

名古屋市の各局・区・室の担当課を通じ、市民利用施設等の管理担当者に対し、調査票の配布、回収を行いました。

(5) その他

調査と同時に、以下の手引き等を送付し、薬剤の適正な使用を促しました。

ア 住宅地等における農薬使用について（平成 15 年 9 月農林水産省）

イ 樹木等の病虫害防除に関する手引き（平成 17 年 7 月農林水産省）

ウ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律及び関係政省令等（抜粋）

エ 市施設におけるねずみ昆虫等の防除について（通知）

オ 建築物におけるねずみ・害虫等の防除について（市公式ウェブサイト）

「住宅地等における農薬使用について」（平成 19 年 1 月農林水産省・環境省）が新たに発出され、廃止されました。

2 調査の結果

(1) 回答件数

部署別の回答件数は、表1のとおりです。全体では786件の回答があり、そのうち屋外における薬剤散布は530件、屋内における薬剤散布は361件ありました。

表1 部署別の回答件数

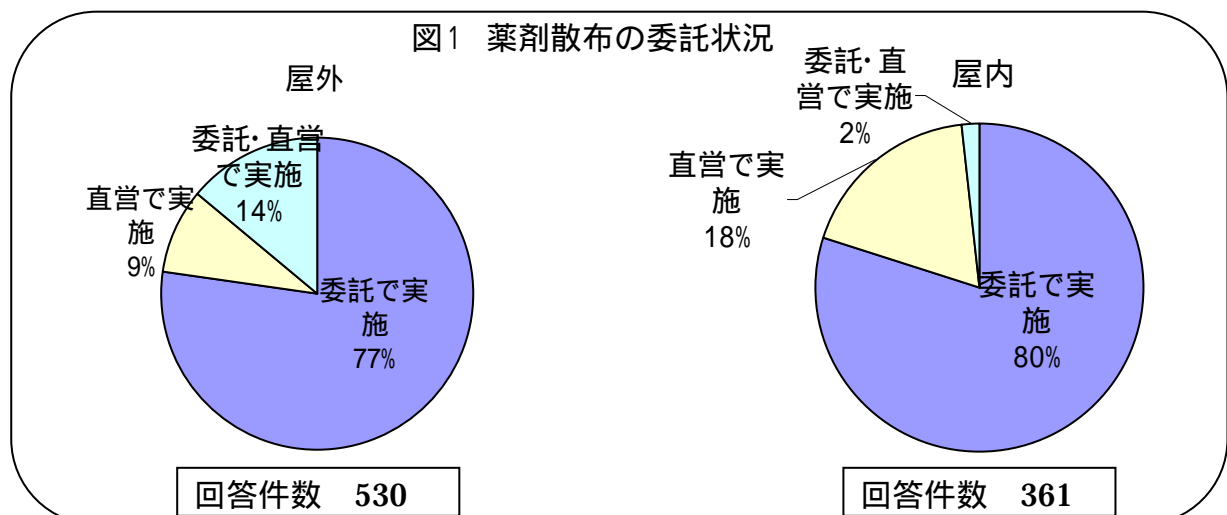
部署名	回答件数	回答区分		主な施設
		屋外	屋内	
市長室	2	2	2	公館、国際センター
総務局	6	3	6	市立大学、市政資料館
財政局	0	0	0	
市民経済局	35	14	33	国際会議場、文化小劇場
環境局	1	0	1	公衆トイレ
健康福祉局	29	16	28	病院、福祉施設
子ども青少年局	73	65	12	保育園、児童館
住宅都市局	2	0	2	バスターミナル
緑政土木局	46	45	4	街路樹、公園
区役所(16区計)	36	8	34	区役所、保健所
教育委員会事務局	477	354	182	学校、図書館
消防局	8	6	3	消防署
上下水道局	18	17	1	営業所
交通局	53	0	53	地下鉄駅
合計	786	530	361	

薬剤散布を行っているとして回答があった件数です。複数施設で一括して薬剤散布を行っている場合に1件として計上している場合があるため、施設数とは一致しません。

(2) 薬剤散布の実施方法

ア 薬剤散布の委託状況

屋外・屋内とも、委託で実施した施設等が多い結果となりました。

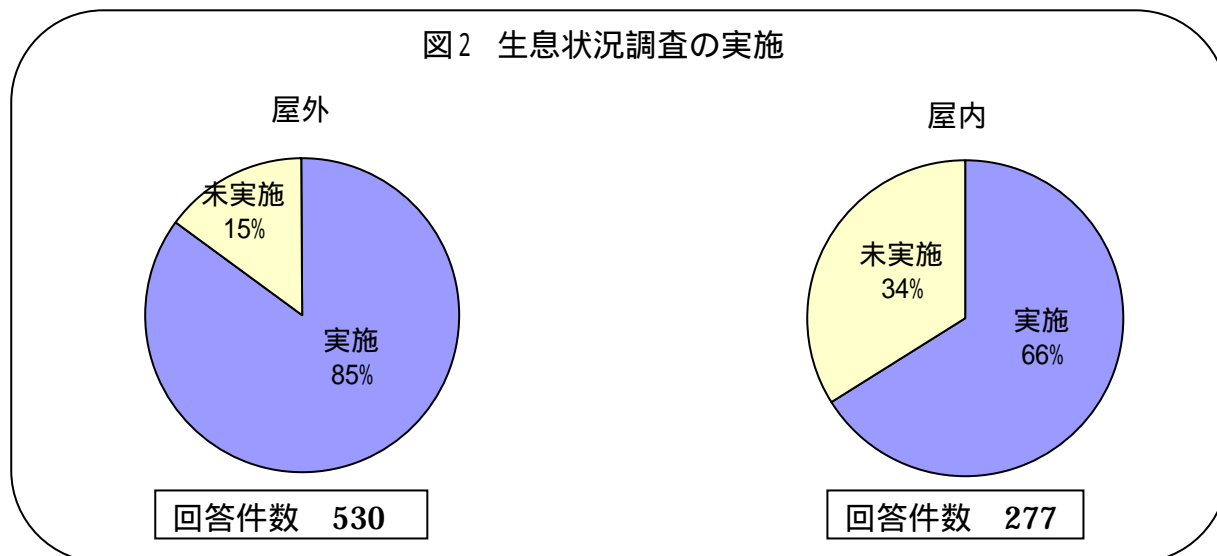


イ 生息状況調査の実施状況

屋外・屋内とも、害虫等の生息状況調査を実施した施設等が多かったものの、一部の施設等で実施していない結果となりました。

なお、生息状況調査が不可能な場合は、回答件数に含まれません。

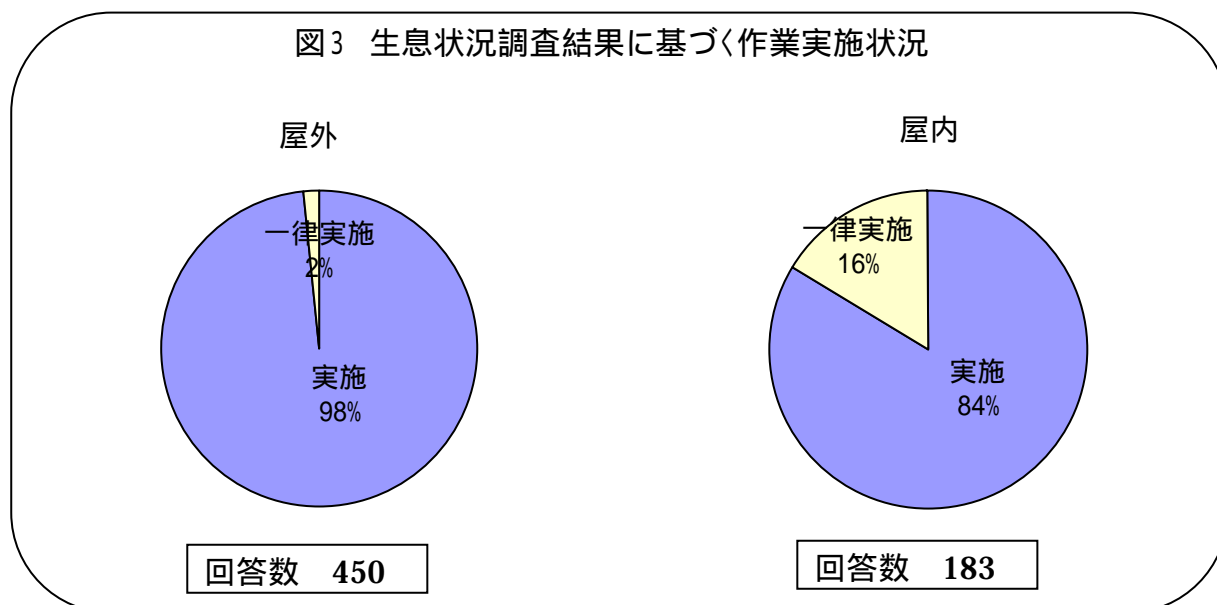
図2 生息状況調査の実施



ウ 生息状況調査の結果に基づく作業実施状況

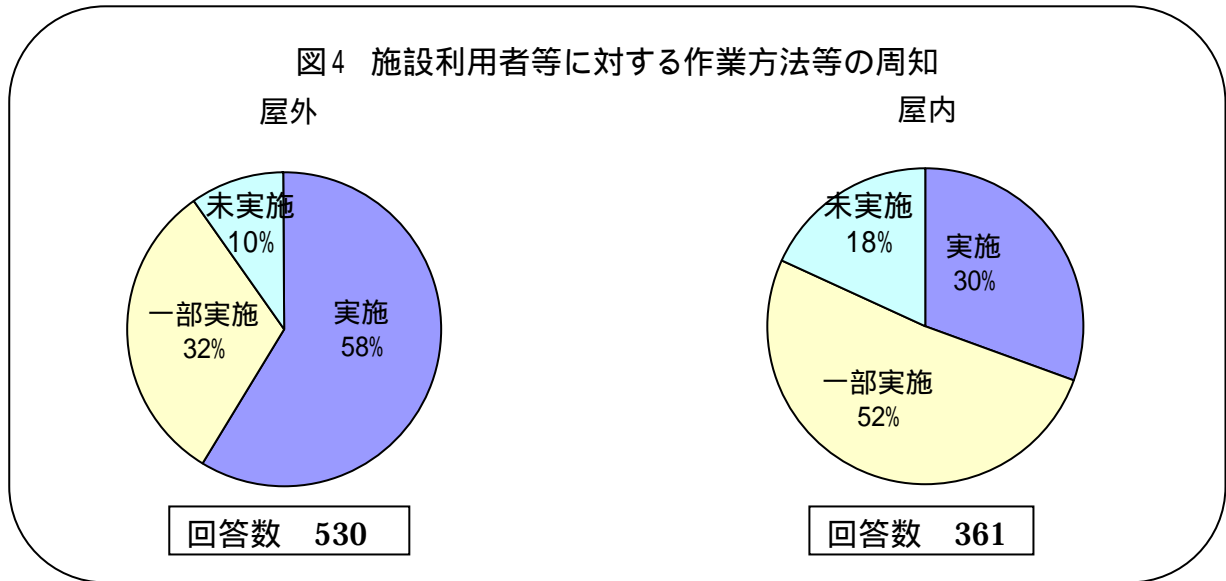
生息状況調査を実施していた施設等のうち、屋外・屋内とも、ほとんどの施設等でその結果に基づき作業を実施していたものの、一部の施設等でその結果に基づかず一律に薬剤散布を行っている結果となりました。

図3 生息状況調査結果に基づく作業実施状況



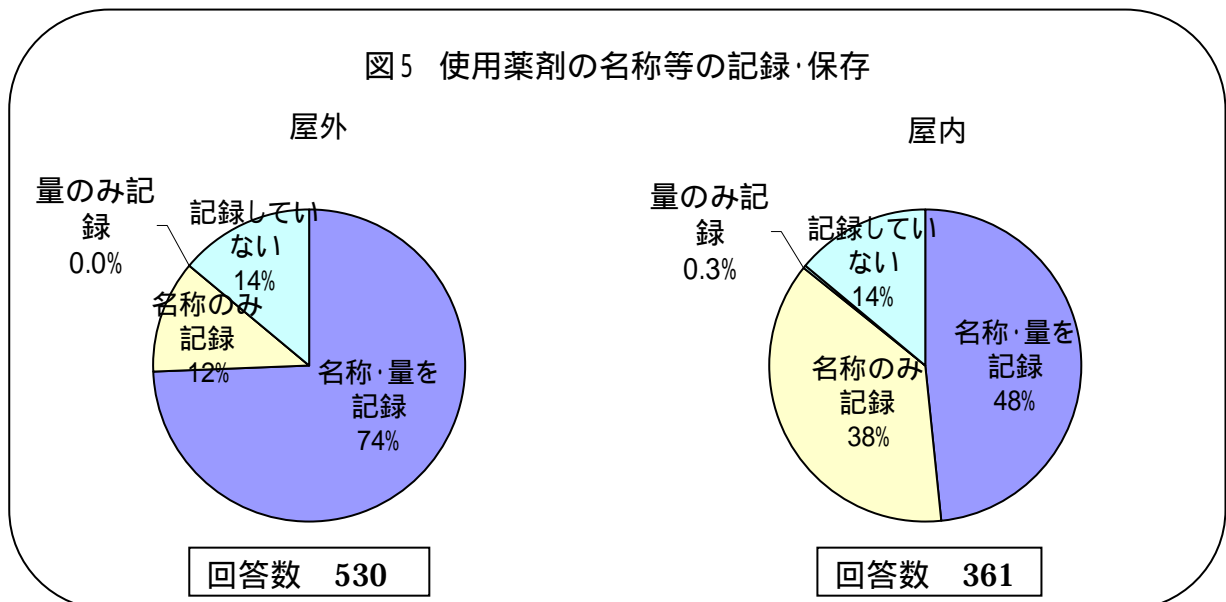
エ 施設利用者等に対する作業方法等の周知

屋外では、施設利用者等に対し作業方法等の周知を実施していた施設等が最も多く、屋内では一部実施（職員への周知のみなど）が多い結果となりました。一部の施設等では、周知していない結果となりました。



オ 使用薬剤の名称等の記録・保存

屋外・屋内とも、使用した薬剤の名称・量を記録している施設等が最も多かったものの、屋内では名称のみの記録にとどまっている施設等も多い結果となりました。一部の施設等では、記録していない結果となりました。



(3) 使用していた薬剤の種類とその使用量

ア 屋外

屋外で使用していた薬剤の種類とその使用量は表2のとおりです。有機リン系の殺虫剤、無機化合物系の殺菌剤、アミノ酸系の除草剤などを使用していました。

なお、屋外では、樹木の害虫や病気、雑草の防除などのために、農薬が使用されます。

表2 屋外で使用した薬剤の種類とその使用量

区分	有効成分による分類	使用量	
		液体 (単位：ℓ)	固体 (単位：kg)
殺虫剤	有機リン系	1,081	134
	物理的阻害系	425	
	ピレスロイド系	25	30
	その他	483	165
	小計	2,014	329
殺菌剤	無機化合物系	1,774	
	有機硫黄系		94
	ベンゾイミダゾール系		53
	ジカルボキシイミド系		13
	EBI系	3	10
	その他	22	242
	小計	1,799	412
除草剤	アミノ酸系	129	
	フェノキシ系	13	
	その他	19	126
	小計	161	126
その他		134	41
合計		4,108	908

使用量は、希釈前の原液等の量(商品の量)です。また、薬剤の数(本数など)で報告されたものは含みません。

イ 屋内

屋内で使用していた薬剤の種類とその使用量は表3のとおりです。有機リン系・ピレスロイド系の殺虫剤、クマリン系の殺そ剤などの薬剤を使用していました。

なお、屋内では、ゴキブリなどの衛生害虫やねずみの防除などのために、医薬品・医薬部外品が使用されます。

表3 屋内で使用していた薬剤の種類とその使用量

区分	有効成分による分類	使用量	
		液体 (単位：ℓ)	固体 (単位：kg)
殺虫剤	有機リン系	1,649	4
	ピレスロイド系	387	43
	昆虫成長阻害剤	91	1
	防蟻剤	55	
	カーバメート系	8	1
	ヒドラメチルノン等食毒剤		12
	その他	198	5
	小計	2,388	66
殺そ剤	クマリン系		79
	その他		12
	小計		91
消毒剤	フェノール系	140	
	逆性石けん	24	
	小計	164	
合計		2,552	157

使用量は、希釈前の原液等の量（商品の量）です。また、薬剤の数（本数など）で報告されたものは含みません。

(4) 今後の対応

今回の調査で、害虫等の生息状況調査を行わずに薬剤散布を行っている事例や、施設利用者に対する周知や薬剤使用状況の記録が十分になされていない事例がありました。今後も、薬剤散布を行う施設管理者等に対し、手引き等の周知を図るとともに、今回と同様の調査を必要に応じて行ってまいります。

参考

1 用語説明

用語	説明	
薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬、医薬品・医薬部外品（害虫等の防除を目的とするもの）など 	
農薬	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用の薬剤で、農林水産省の登録を受けたもの ・農作物等の栽培管理に使用する薬剤 ・用途により殺虫剤、殺菌剤、除草剤などに分類 	
	殺虫剤	農作物などに害を及ぼす害虫を防除する薬剤
	殺菌剤	農作物などに害を及ぼす病気を防除する薬剤
	除草剤	雑草を防除する薬剤
医薬品・医薬部外品	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品は、疾病の治療又は予防に使用されることを目的とした薬剤で厚生労働省の承認を受けたもの ・医薬部外品は害虫の駆除又は防止を目的とし、かつ人体に対する作用が緩和な薬剤で厚生労働省の承認を受けたもの ・屋内、屋外ともに使用可 ・用途により殺虫剤、殺そ剤、消毒剤などに分類 	
	殺虫剤	衛生害虫（ゴキブリなど）、不快害虫（ヤスデなど）、シロアリ等の害虫を防除する薬剤
	殺そ剤	衛生環境を損なうねずみを防除する薬剤
	消毒剤	衛生環境を損なう細菌、病原菌等の菌を消毒する薬剤

この調査における定義

2 薬剤の有効成分による分類

(1) 農薬

区分	有効成分による分類	主な薬剤の名称
殺虫剤	有機リン系	DDVP MEP (フェニトロチオン) ダイアジノン アセフェート マラソン
	物理的阻害系	マシン油
	ピレスロイド系	エトフェンプロックス
殺菌剤	無機化合物	石灰硫黄合剤
	有機硫黄系	マンネブ ジネブ
	ベンゾイミダゾール系	チオファネートメチル ベノミル
	ジカルボキシイミド系	イプロジオン
	EBI系	トリアジメホン トリフルミゾール ミクロブタニル
除草剤	アミノ酸系	グリホサート グリホシネート
	フェノキシ系	MCPP

(2) 医薬品・医薬部外品

区分	有効成分による分類	主な薬剤の名称
殺虫剤	有機リン系	フェニトロチオン クロルピリホスメチル プロピタンホス
	ピレスロイド系	ペルメトリン フェノトリン プラレトリン
	昆虫成長阻害剤	ジフルベンズロン
	防蟻剤	クロチアニジン プラレトリン
	カーバメート系	プロボクスル
	食毒剤	ヒドラメチルノン
殺そ剤	クマリン系	ワルファリン
消毒剤	フェノール系	クレゾール
	逆性石けん	塩化ベンザルコニウム